

# 地域社会が“成長の限界”を乗り越えるとき

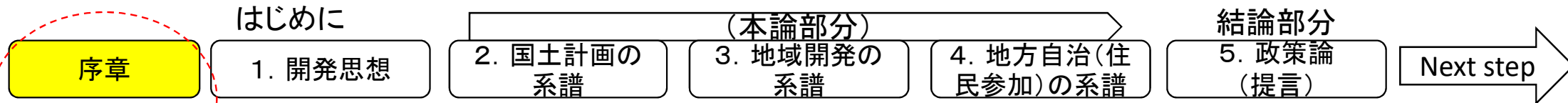
国土開発、地域開発を越えた“新たな共”の形成

2019年3月27日(水)

鳴尾 眞二

(株)鳴尾総合研究所 顧問

# 「戦後“国土開発と地域開発”の限界と可能性」論文の設計図



問題意識の所在を明らかにする

1-1. 豊かさ、便利さ、効率を追求した近代の軌跡

1-2. 技術・エネルギー開発の系譜

2-1. 明治維新以来の日本の近代化の過程(経済開発、国土開発の視点から):原稿あり

2-2. 戦後の我が国の開発行政(1次~7次国土開発計画):原稿あり

2-3. 地方から見た国土開発:中国地方の開発の歴史から

3-1. 地域開発政策の軌跡

3-2. 都市開発の系譜『最適都市を考える』、マンフォード、コルビュジエ、ジェイコブズ他

3-3. 農村開発の系譜『限界集落の真実』、『シリーズ地域の再生 1~21巻』

4-1. 地方分権の政治的側面

4-2. 住民参加(自治)の系譜『戦後日本住民運動資料集成1~8巻』、『地域再生の社会学』

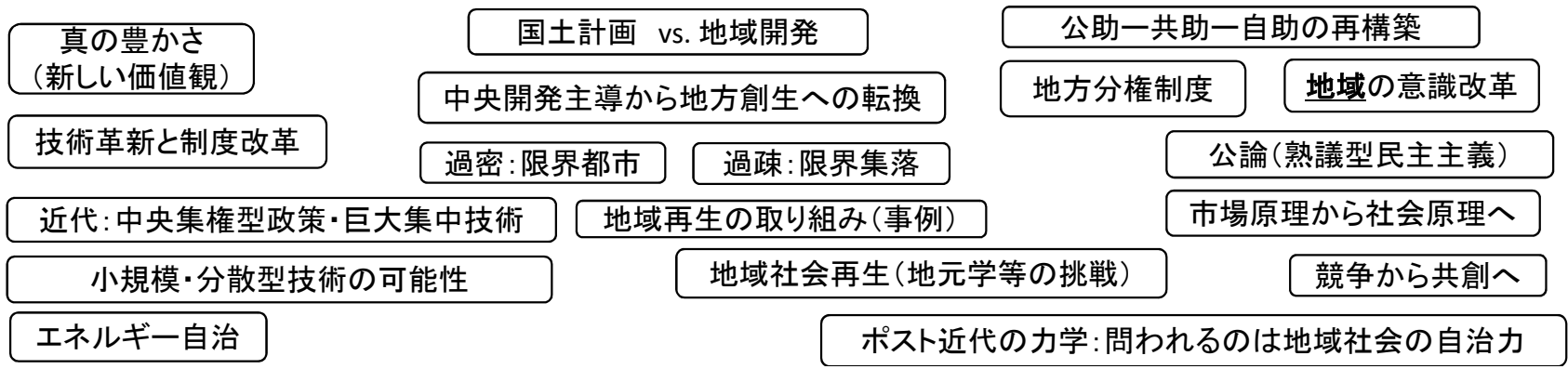
4-3. 地方財政の系譜『地域再生の経済学』

5-1. 目指すべき社会はどこに?

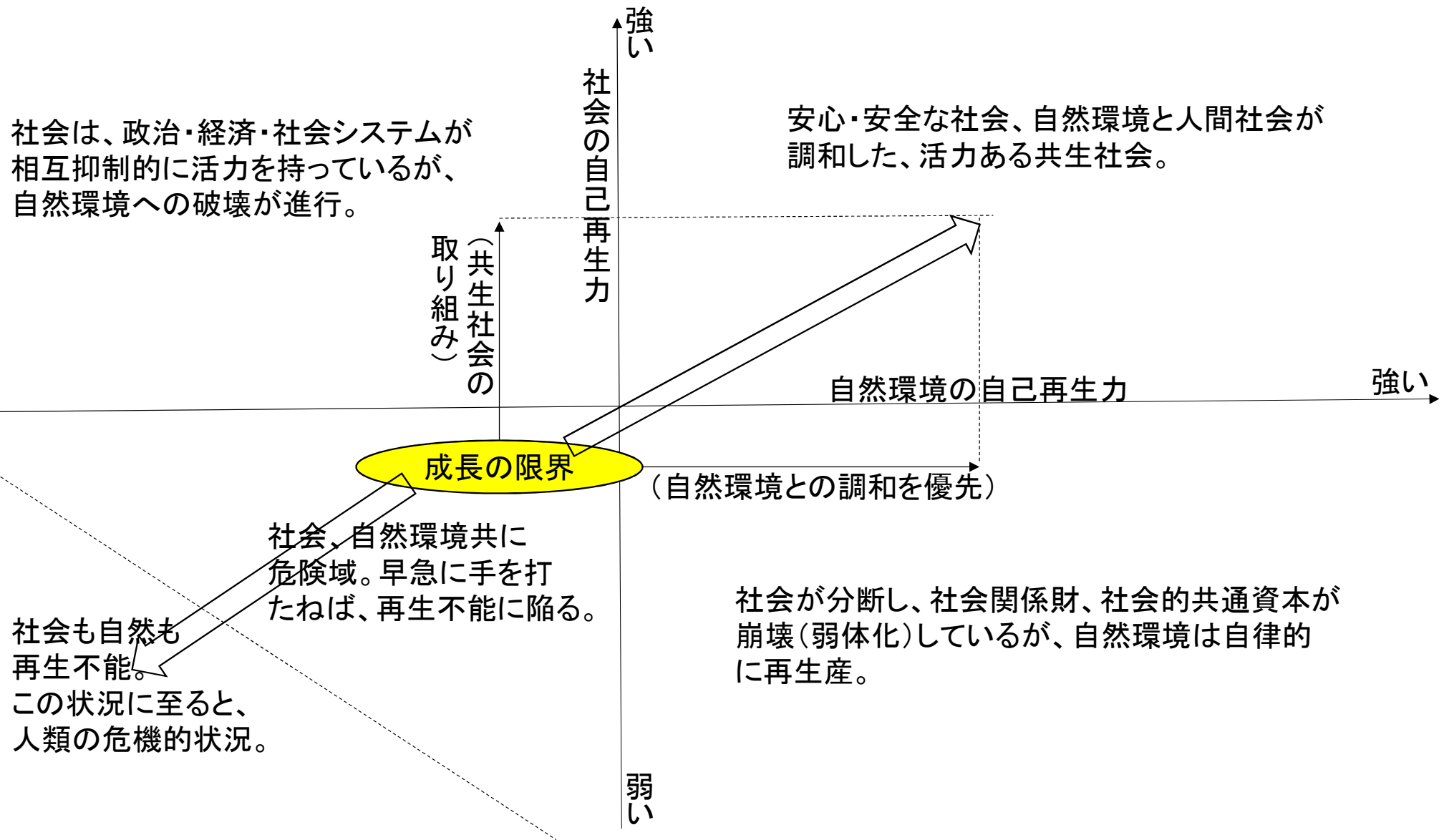
5-2. 社会力の系譜『社会力の時代へ』

5-3. 「社会実験」から「社会実装」へ—地域社会からの展開

## (キーワード)



# 1. 成長の限界：社会と自然の自己再生力



# 2. 成長の鳥瞰図

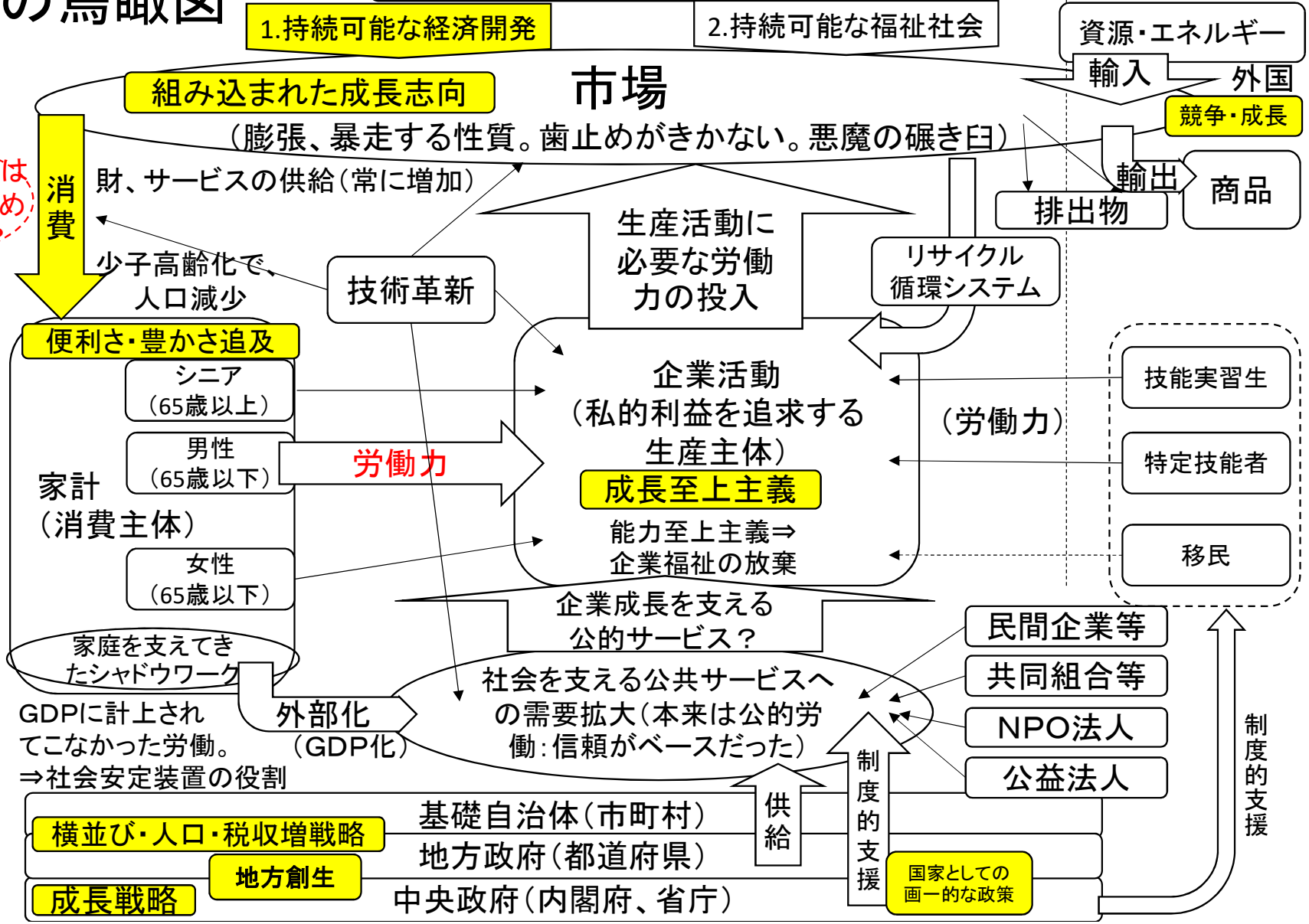
成長の限界に直面した社会の選択

自国Firstの露骨なエゴイスティック政策

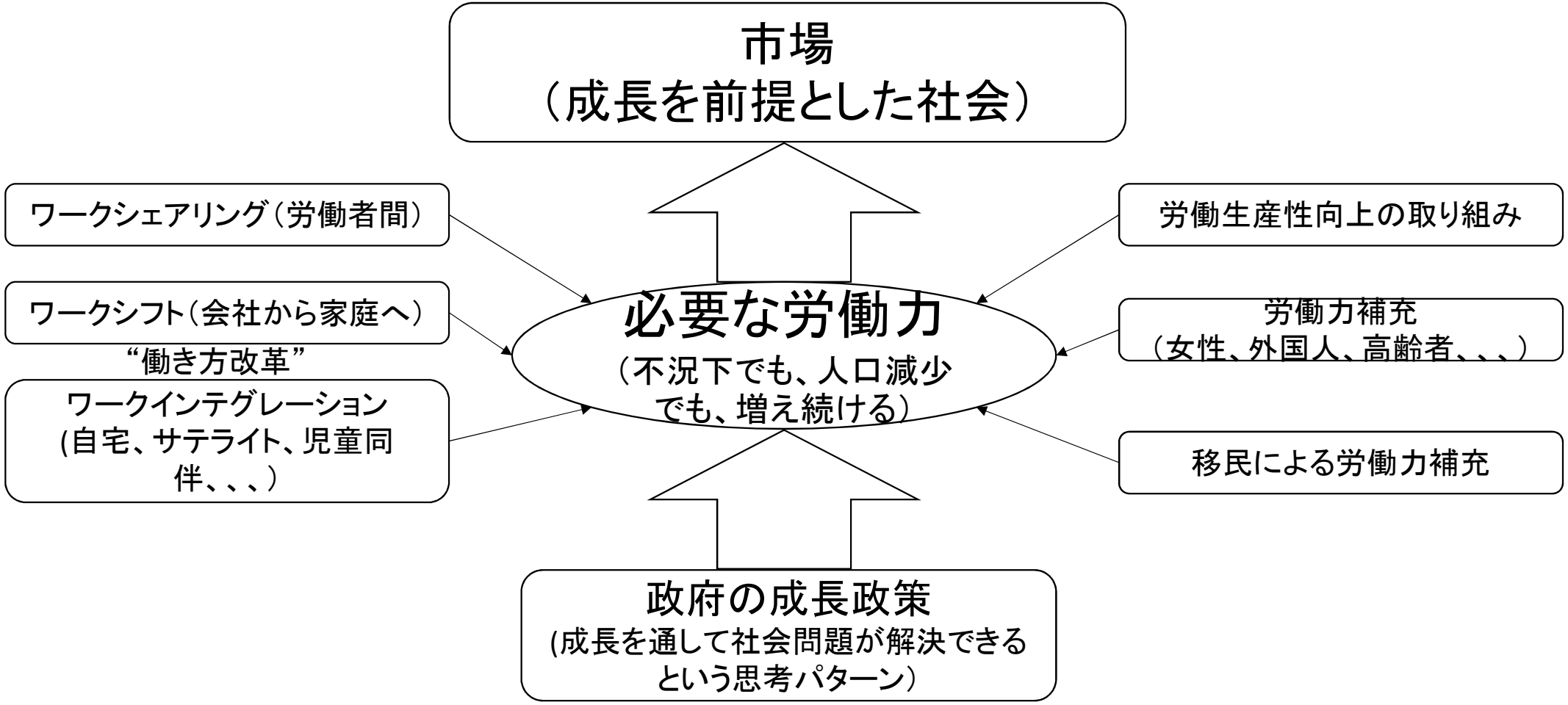
1. 持続可能な経済開発

2. 持続可能な福祉社会

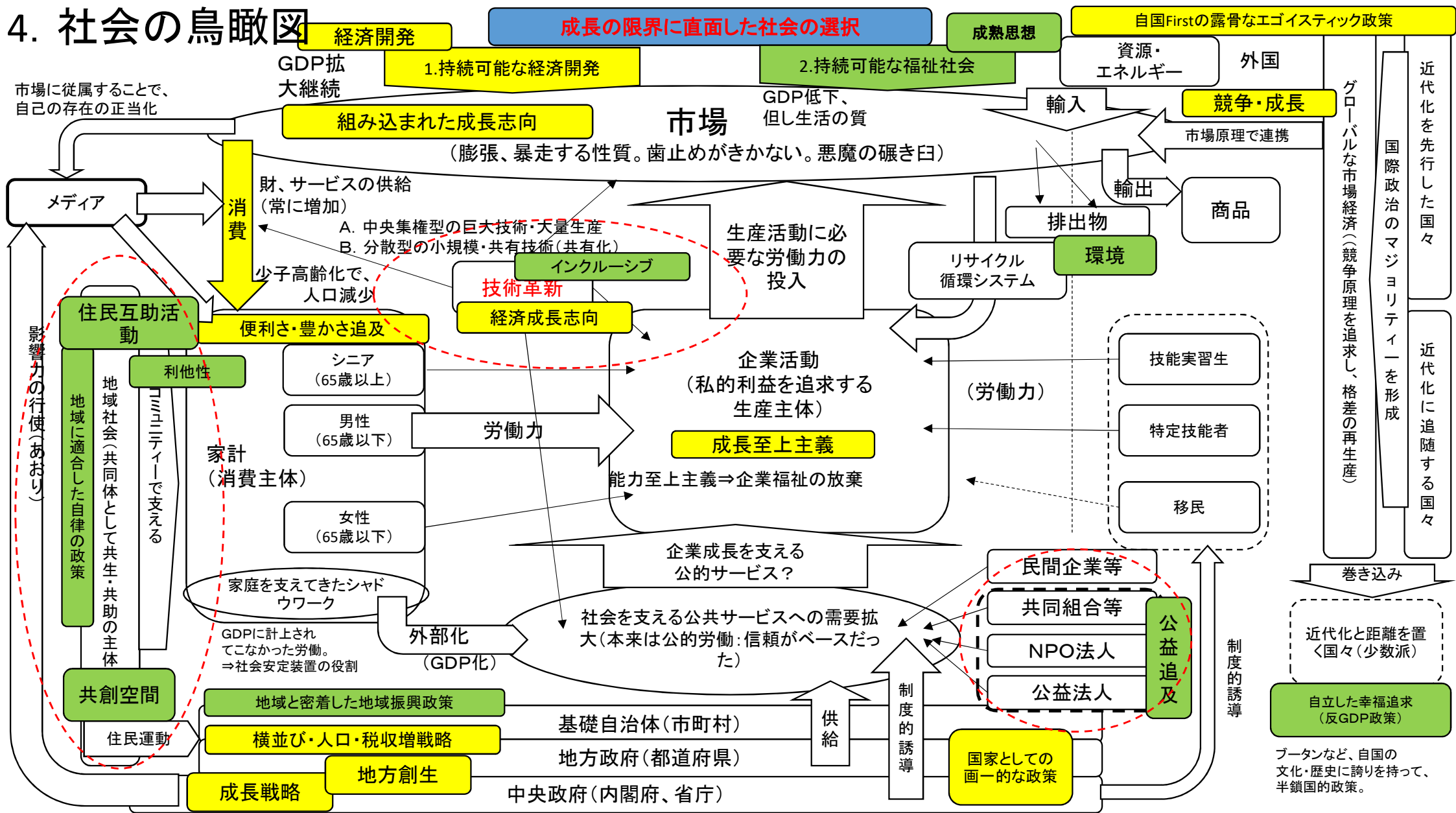
資本主義社会は  
何故成長を止め  
られないか?



### 3. 労働力市場の肥大化は、社会が抱える問題を解決して行くのだろうか？



# 4. 社会の鳥瞰図



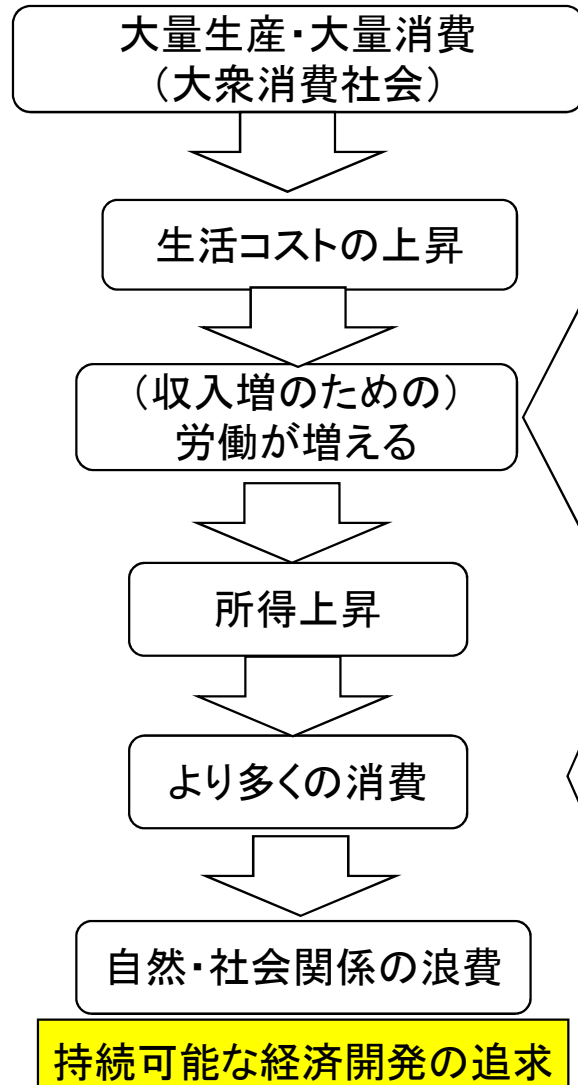
ブータンなど、自国の文化・歴史に誇りを持って、半鎖国的政策。

# 5. 技術革新 ⇒ 開発・成長の悪循環 vs. 共創・共生の好循環

成長・競争を基調とした経済社会

社会変革の挑戦

成熟・共生を基調とした経済社会



政策・メディア誘導  
労働強化

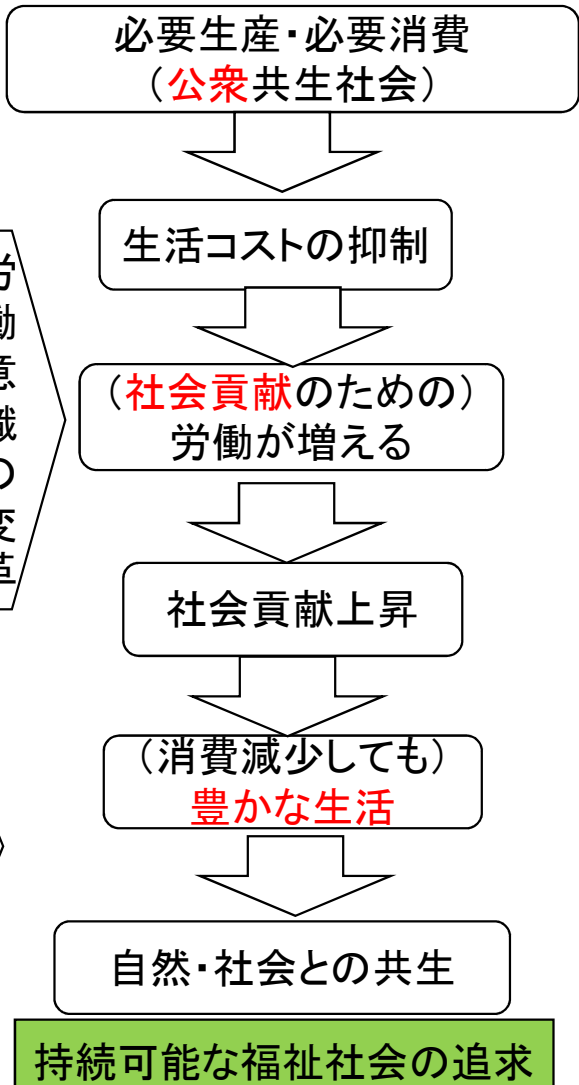
景気刺激策

技術革新  
(本来的に中立的性格)  
社会の使い方次第

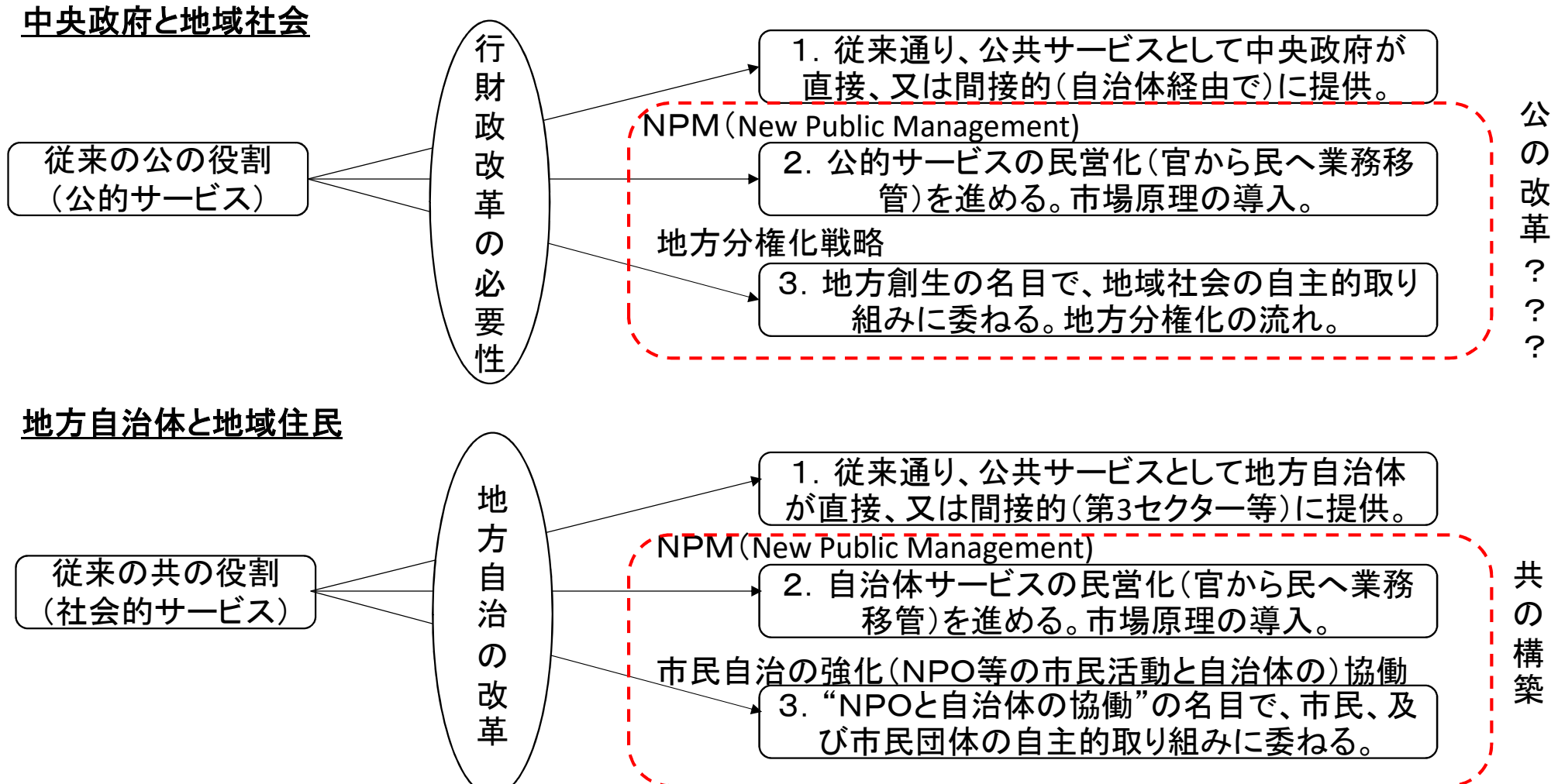
技術・政策的誘導

地域共生の定着

労働意識の変革

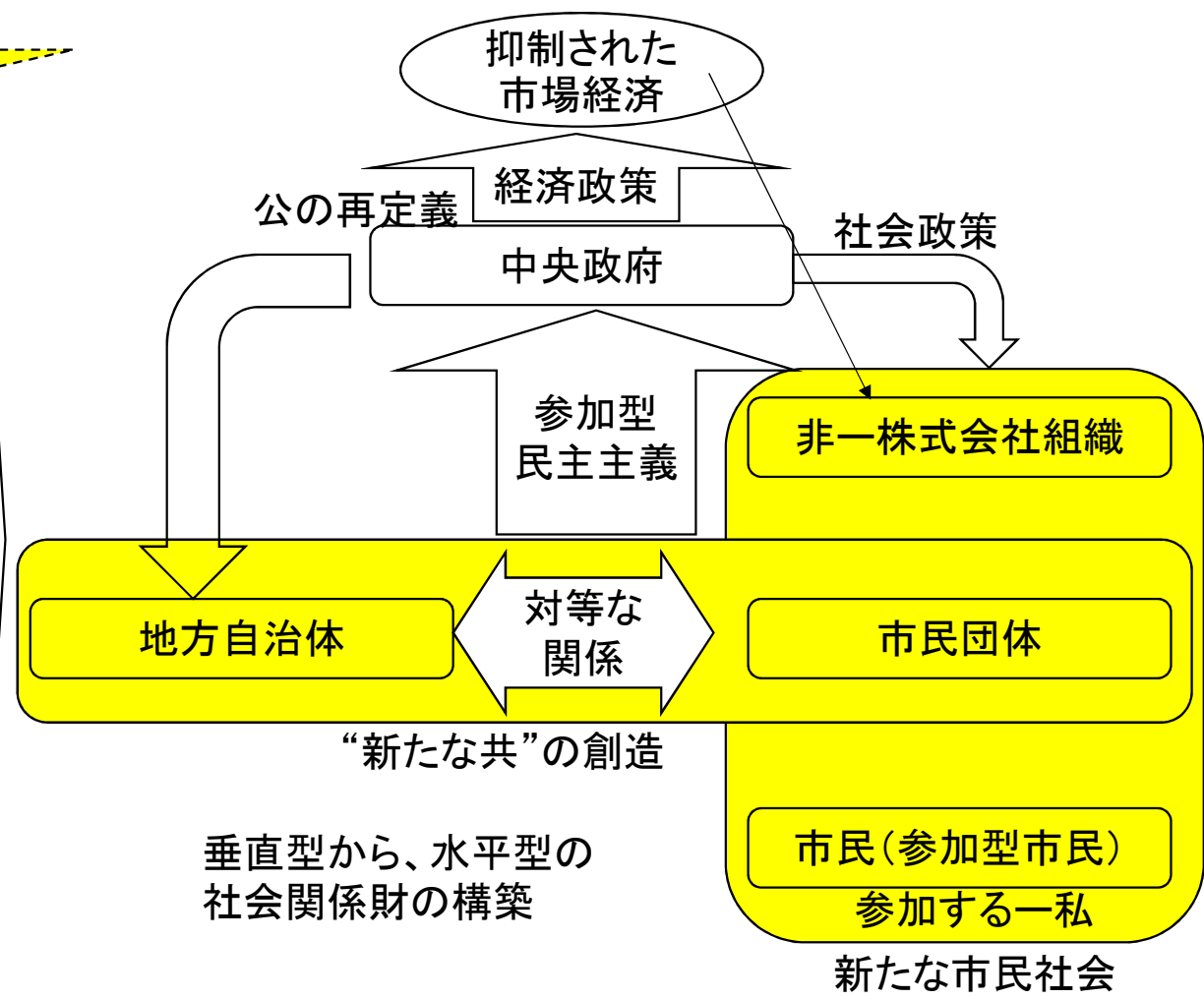
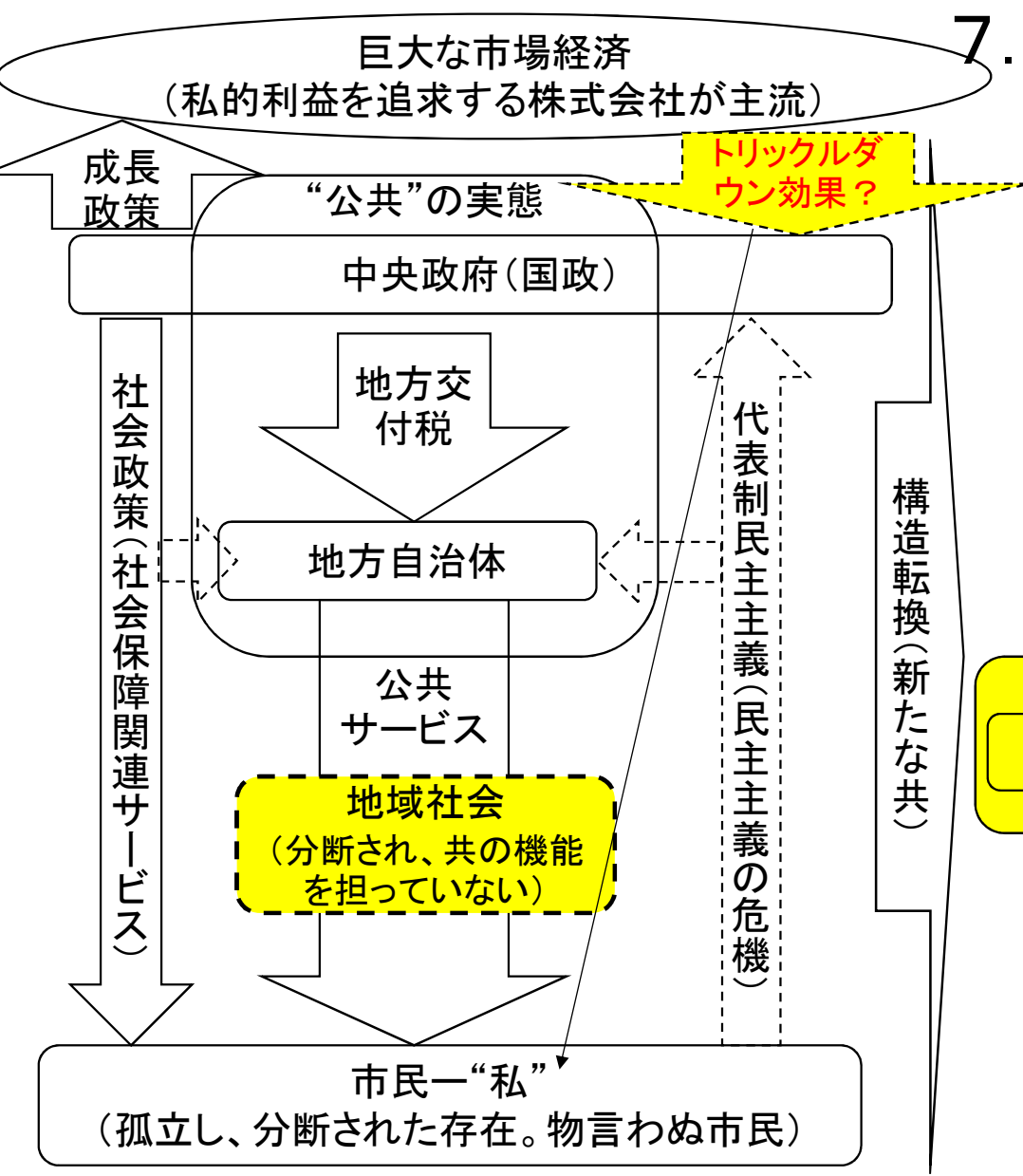


## 6. 公共の改革(1. 官から民へ、2. 地方分権化、3. 市民活動の取り込み)

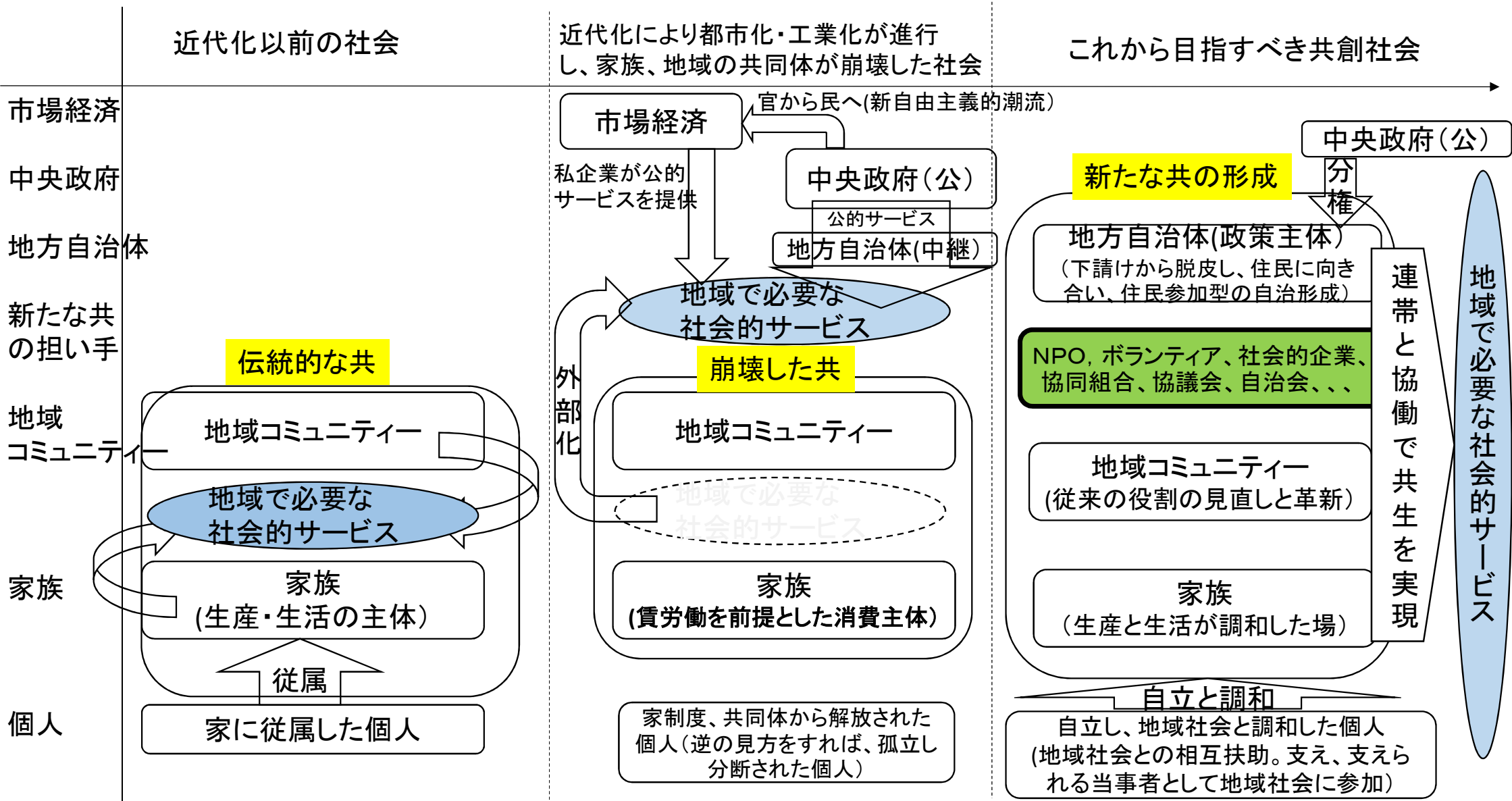




# 7. “新たな共”

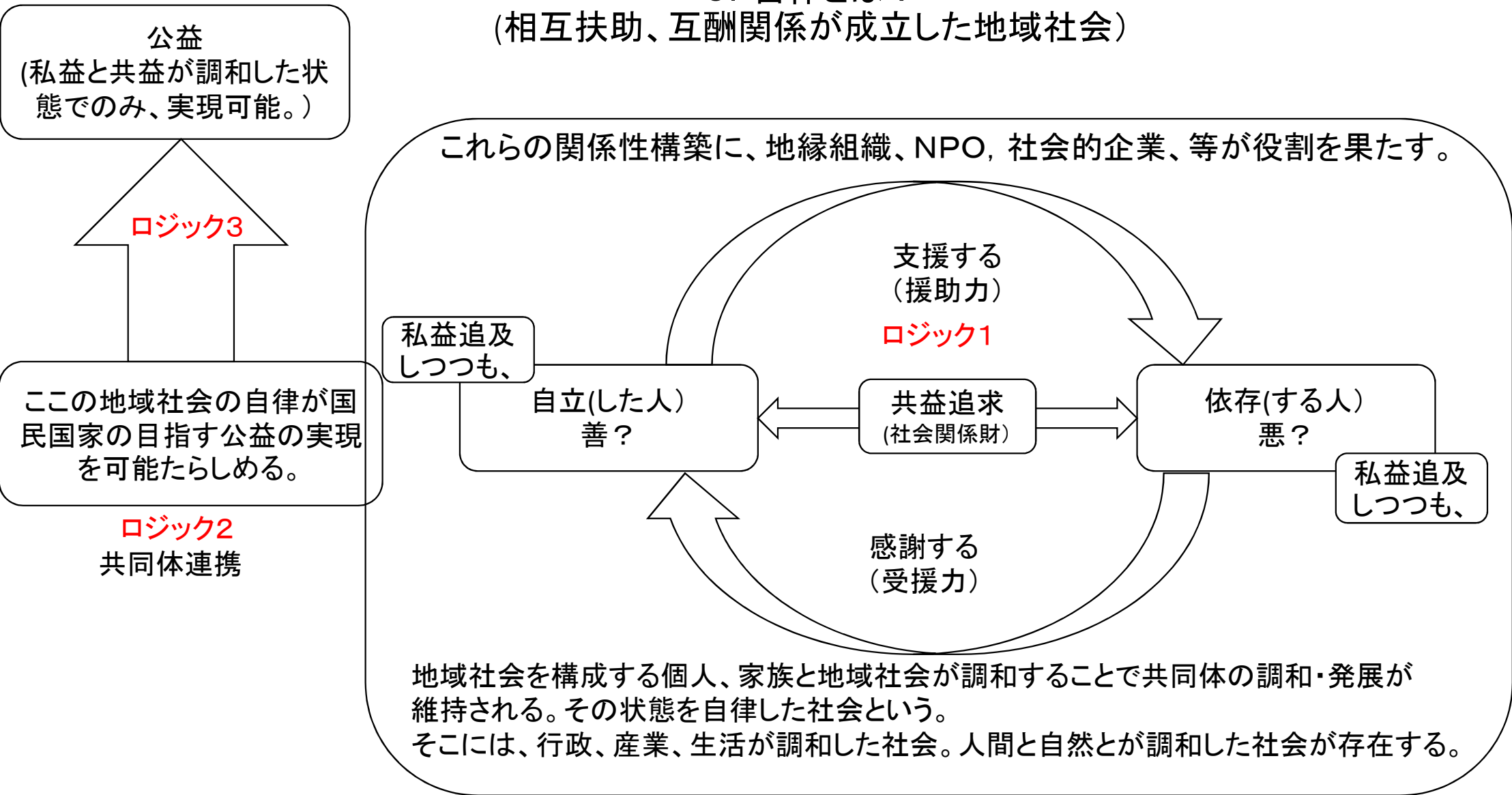


## 8. “新たな共”による、地域の社会的サービス供給



## 9. 自律とは？

(相互扶助、互酬関係が成立した地域社会)



# 10. 近代とポスト近代の力学

## 近代を超越するには、何が必要なのか？

課題解決の原動力:

民主主義、地方自治、参加型社会、  
持続可能性追求、共生社会実現、  
多様性の受容、真の豊かさ追及、...

抵抗勢力: 既得権益者の制度固定化

抑制

ポストモダン: 新しい社会のビジョン

制度的革新: 法規、政策  
(ソーシャルイノベーション)

社会的課題を明らかにし、解を見出し、実現する力(社会力)

補助金制度、  
競争環境整備

経済性実現、  
ライフスタイル、  
競争原理変革

目指すべき  
“社会システム”

実現

安心・安全な共生社会

健全な共創環境と自由な発想、  
教育、研究開発人材の育成、  
知的財産の保護と情報共有

技術革新:  
(イノベーション)

減速、阻止

抑制力: 既存技術の権利者、受益者

“近代”を超越し、突破する力、社会の変革力、創造力

1. 社会全体で共有される危機感(地球環境、テロリズム等)
2. 小さな挑戦を応援する社会的風土(若干のゆとりと助け合い)
3. 人と人、人と社会、人と自然の健全な関係性、
4. 他者を思いやる利他性、多様性、開放性、...

おしとどめる力  
(近代の足かせ、呪い)

過去の成功体験、既得権益  
既に手にした便利さの就縛、  
自国(地域)第1主義  
利己性、現状に縛り、拘束する力

## 10-2. 近代とポスト近代の力学 エネルギー問題をケースワークとして

課題解決の原動力:

**抵抗勢力: 電力会社(大規模集中型火力)**

危険な原子力発電への警戒  
石油等の化石燃料の価格高騰・不安定化、  
埋蔵量の減少、有限性の認識、  
中央集中型のメガ発電体制の脆弱性認識

抑制

**制度的革新: 法規、政策  
(省エネ促進、再生エネルギー、新電力会社、)**

**エネルギー課題:**

原子力や、有限な化石燃料に依存したエネルギー供給体制から、分散型の安心、安全な再生可能エネルギー供給体制移行。

1974年サンシャイン計画  
1999年自然エネルギー促進議員連盟(超党派)  
2001年RPS(再エネ調達割合基準制度)  
2009年余剰電力買い取り制度  
2012年FIT(固定価格買い取り制度)  
2015年第4次エネルギー基本計画

再生エネの供給効率革新、07まで、シャープが太陽電池生産世界1、住宅蓄電技術、地産地消技術、ブロックチェーン

再生エネルギーを主力とした分散型供給体制

目指すべき  
“エネルギー供給システム”

実現

再生エネを主力にした、地産地消型のエネルギー供給体制

安心・安全な共生社会

**エネルギー技術革新:  
(再生エネルギーの主力化、分散型電力、IT活用、)**

安心・安全なクリーンエネルギー技術  
災害に強い電力供給体制  
小規模・分散型エネルギー供給技術の開発  
スタートアップ企業でも参入可能な技術体系  
経済性の観点からも再生エネの優位性証明、...

減速、阻止

**抑制力: 既に原子力、火力を中心とした大規模集中型の電力システム**

“新エネルギー供給体制”を構築する突破する力

おしとどめる力  
(エネルギーシフトの足かせ、呪い)

1. 原子力政策・技術に対する、国民の不信感
2. 現在のエネルギー供給体制の災害時の脆弱性露呈
3. 再生エネによって持続可能な社会を目指す国民世論
4. スタートアップ企業の参入、電力自由化のような参入障壁の低下傾向

大企業によって確立した中央集中型の巨大エネルギー供給システム。

# 10-3. 近代とポスト近代の力学 地域開発をケースワークとして

